

令和4年10月12日

毒キノコを原因とする食中毒の発生について

10月11日（火曜日）23時頃、黒部市内の医療機関から「自宅裏山でシイタケのようなキノコを採取し食べ、嘔吐等の食中毒様症状を呈している患者を診察した。」旨、新川厚生センターへ通報があった。

新川厚生センターが調査したところ、患者は、10月11日（火曜日）に黒部市内の山中でシイタケと間違っテツキヨタケを採取し、自宅できのこ炒めにして同日17時頃に家族2名で喫食したところ、家族2名とも17時30分頃から嘔気、嘔吐等の症状を呈し医療機関を受診した。

1 患者の状況（10月12日（水曜日）12時現在）

1. 喫食者数：2名
2. 患者数：2名（2名が医療機関を受診し、入院者はなし。）
3. 年齢：70歳代（男性1名、女性1名）
4. 主な症状：嘔気、嘔吐

2 原因食品

ツキヨタケ

3 有毒植物による食中毒の予防について

全国では毎年、有毒なキノコを採って、食べたことにより食中毒が発生しています。有毒なキノコを食べることで死亡することもあります。食用のキノコと確実に判断できないキノコは絶対に、「採らない！食べない！売らない！人にあげない！」を守りましょう。

4 食中毒の発生状況（令和4年10月12日現在、本事例含む）

年次	令和4年	令和3年同期
食中毒発生件数	4件（5名）	2件（1,898名）

（ ）内は患者数（富山市分を含む）

5 富山県（富山市内を含む）で発生したキノコによる食中毒事例（平成 25 年以降）

年次	発生日	原因植物	発生場所	摂食者数	患者数
平成 25 年	10 月	種別不明のキノコ	家庭	1	1
		種別不明のキノコ	家庭	2	2
	12 月	ツキヨタケ	家庭	2	1
平成 26 年	9 月	ツキヨタケ	その他（集会場）	2	1
	12 月	ツキヨタケ（推定）	事業所	7	4
令和 2 年	10 月	ツキヨタケ	家庭	4	4

いずれも死者は発生していない

6 ツキヨタケとは

特徴	傘の大きさ	大型で 10～20cm 程度
	形と色	傘：初め黄褐色で、成熟すると紫褐色～暗紫褐色。半円形、まれに円形で濃色の小鱗片を有する。 ひだ：白から薄い黄色で幅は広い。 柄：太く短い柄が傘の側方に付くものが多いが、中央に付くものもある。ひだの付け根につば様の隆起帯がある。色は傘より淡色。肉の内部は暗紫色～黒褐色のしみがある。このしみは不明瞭なもの、ないものもある。 肉：厚い
	発生時期	夏～秋（特に秋）
	発生場所	ブナ、イタヤカエデなどのに重なり合って発生する。
	間違いやすい食用キノコ	ヒラタケ、ムキタケ、シイタケ
症状	食後 30 分～1 時間程で嘔吐、下痢、腹痛などの消化器系の中毒症状が現れる。幻覚痙攣を伴う場合もあるが、翌日から 10 日程度で回復する。	

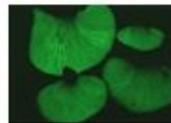


少し盛り上がったつばが
柄の付け根にある



傘は通常半円形または扇
型であるが、円形のもの
も報告されている(上)。

黒いシミがあるものが多い。黒いシミがほとんどないものも
あるので注意が必要である。



暗間で目が慣れれば、青白く見える。カメラで一定の露出時間
で撮影すれば、蛍光緑色に確認できる (F5.6 で1時間40分)。

(出典：厚生労働省ホームページ 自然毒のリスクプロファイル (ツキヨタケ))

参考資料

毒キノコに要注意！リーフレット (厚労省) (PDF : 775KB)